



月島ホールディングス株式会社

証券コード：6332

株主通信

第162期 中間のご報告

2023年4月1日から2023年9月30日まで

CONTENTS

ごあいさつ	1
事業概要	2
業績ハイライト	4
トピックス	5
株式の状況および株主優待制度	8
連結財務諸表(要約)	9
会社情報	10

環境技術で世界に貢献し未来を創る

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第162期中間期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）のご報告を申し上げます。

当社グループは、1905年の創業から受け継がれる技術を研鑽し、快適な水環境を提供する上下水道設備や、豊かで快適な暮らしを支える機械・プラントなどを提供してまいりました。

近年、私たちを取り巻く事業環境は激しく変化するなか、当社グループが持続的に成長するためには、いかなる環境にも柔軟に対応できる経営体制が必要と考え、2023年4月より持株会社体制に移行し、月島ホールディングス(株)として新たなスタートを切りました。グループ経営の効率化を図り、ガバナンスをより一層強化してまいります。2023年10月には、当社の水環境事業とJFEエンジニアリング(株)の国内水エンジニアリング事業を統合し、月島JFEアクアソリューション(株)が発足しました。

当社グループは、「環境技術で世界に貢献し未来を創る」というパーパスのもと、積み重ねてきた経験と技術を最大限に活用して気候変動などの社会課題の解決に取り組み、サステナブルな社会の実現を目指してまいります。

株主の皆様からの一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年 12月



代表取締役会長

山田 和彦



代表取締役社長

川崎 淳

事業概要

当社グループを取り巻く市場環境は、国内外において米中関係の緊張の高まりやロシアによるウクライナ侵攻の長期化、イスラエルとハマスとの軍事衝突などの地政学的リスクの影響により依然として先行きが不透明な状況が続いており、原材料価格の高騰や為替・金利の変動などが経済活動に与える影響について留意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、持続的な成長を目指すために今年5月に公表しました中期経営計画の初年度として、「サステナビリティ経営の推進」「事業領域の拡充とグループ収益力の強化」「資本効率と株主還元の拡充」という基本方針のもと、事業活動を推進しております。

業績について、水環境事業の受注高は複数の大型案件を順調に獲得し大幅に増加しました。売上高は一部案件で別途発注の土木、電気工事の遅れなどの影響で減収となりました。産業事業の受注高は上期に大型EPC案件の受注が無かったことから減少しました。売上高は大型EPC案件が進捗し増収となりました。営業利益は、一過性の費用および販管費の増加により減益となりました。

中期経営計画の進捗状況は、以下の通りです。

●「サステナビリティ経営の推進」

サステナビリティ委員会を設置し、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言への賛同を表明しました。また、人権方針、調達方針を制定し、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みを進めております。

●「事業領域の拡充とグループ収益力の強化」

10月にJFEエンジニアリング(株)の国内水エンジニアリング事業を統合しました。シナジーを発揮して国内上下水道分野におけるリーディングカンパニーを目指します。

●「資本効率と株主還元の拡充」

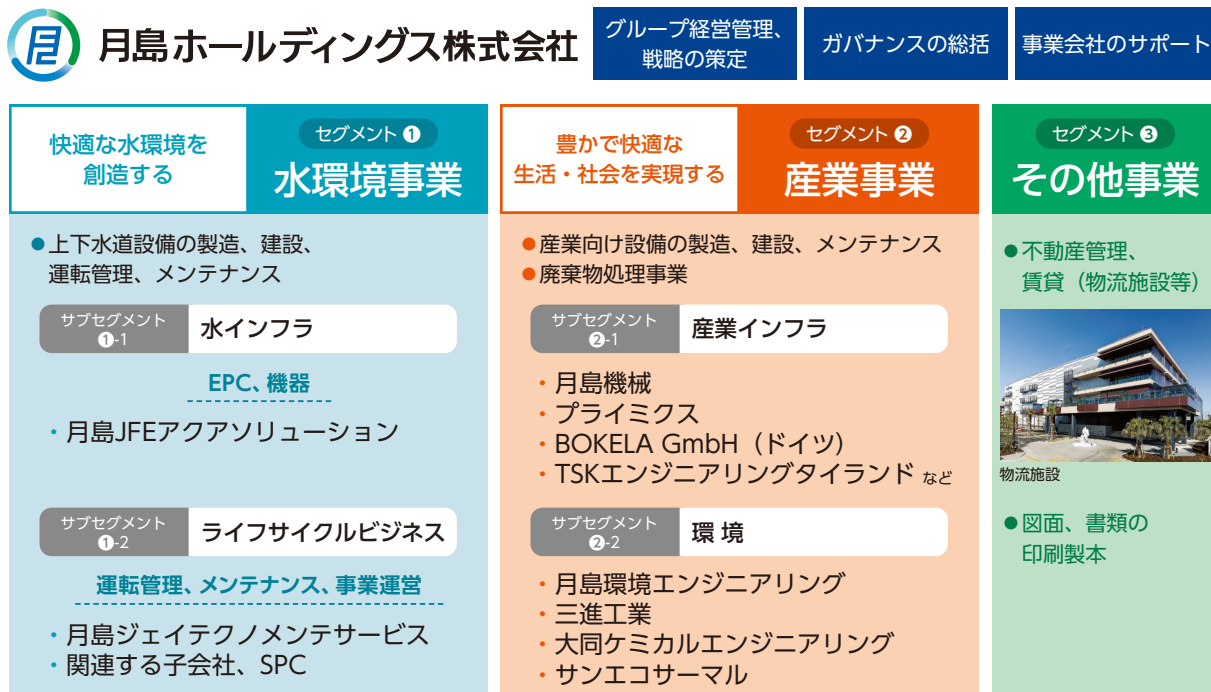
自己株式取得や政策保有株式の売却を進めております。

今後も、中期経営計画を着実に実行することで、より一層の企業価値の向上と持続的成長を目指してまいります。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

事業概要

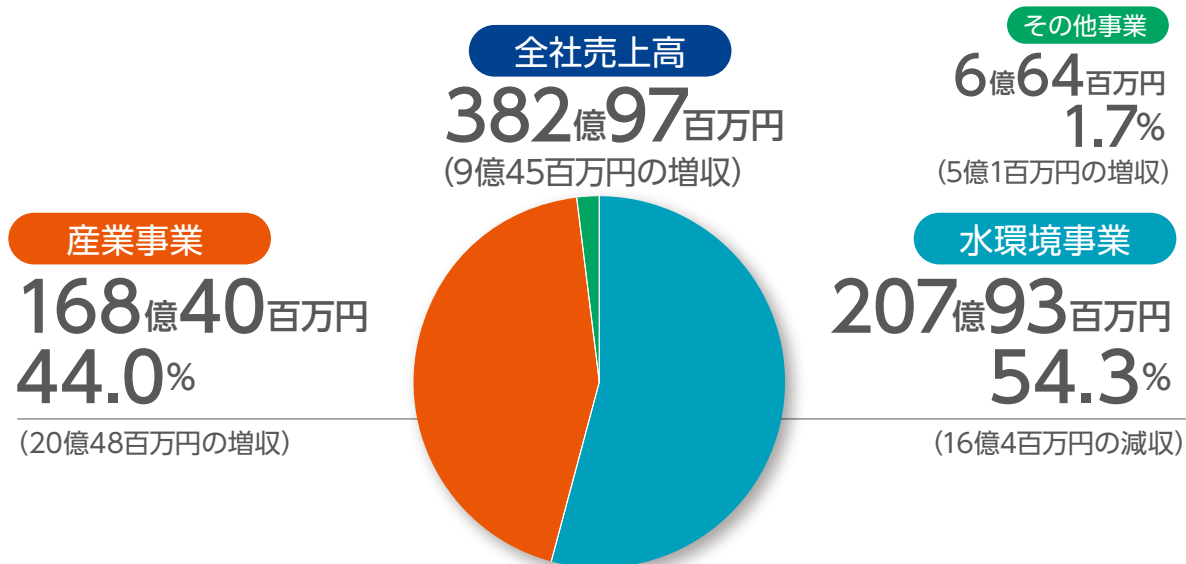
当社グループの事業概要とセグメント情報です。

持株会社である「月島ホールディングス(株)」はグループ全体の経営管理や戦略の策定に加え、総務人事、財務、法務などの管理部門が事業会社のサポートを行い、ガバナンスを統括します。事業セグメントは、水環境事業、産業事業、その他事業の3つから成ります。事業会社は、水環境事業を担う「月島JFEアクアソリューション(株)」と産業事業を担う「月島機械(株)」の2社が中心となります。事業会社の特性に対応した体制を構築し、意思決定のスピードを上げて市場環境の変化に対応し、競争力を高めてまいります。



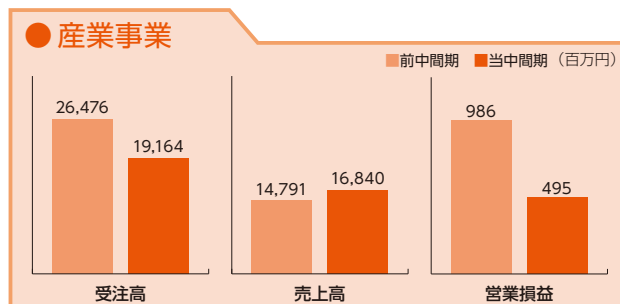
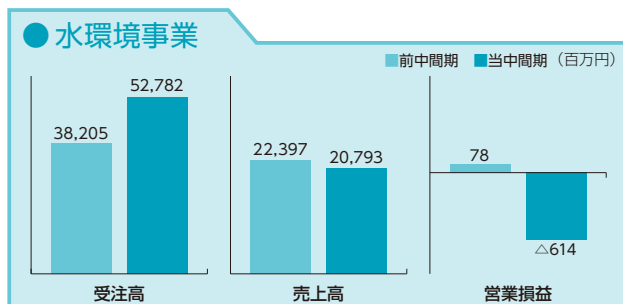
月島ホールディングス(株)グループの体制図

業績ハイライト



営業利益	0百万円	(前年同期比8億81百万円の減益)
経常利益	7億17百万円	(前年同期比6億56百万円の減益)
親会社株主に帰属する 中間純利益	9億21百万円	(前年同期比43百万円の増益)

■当中間期におけるセグメント別受注高・売上高・営業損益



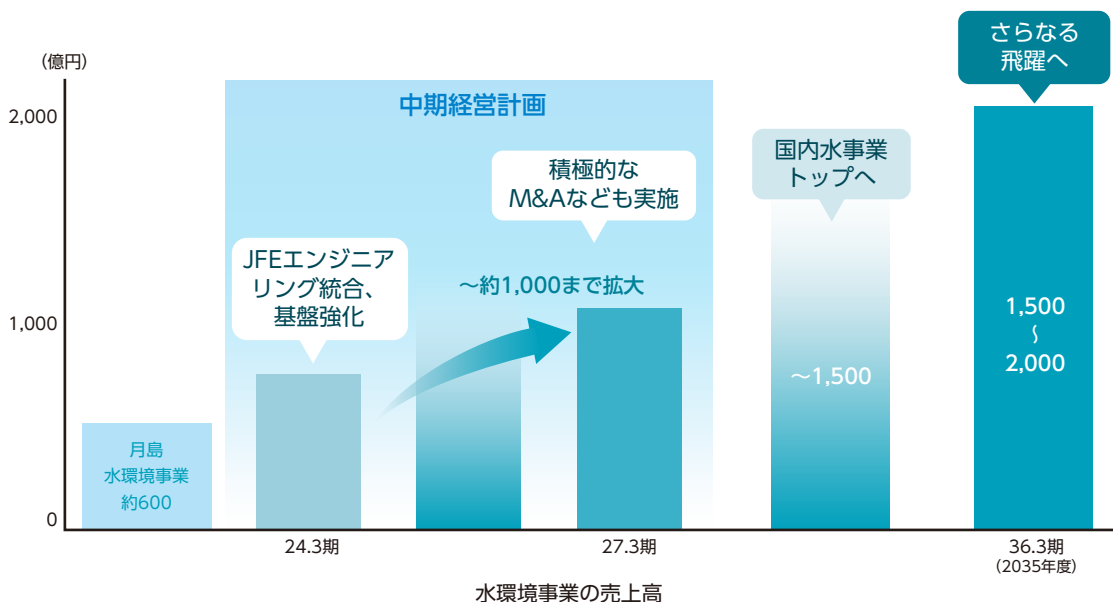
当期より、従来、水環境事業に含めていた「一般・産業廃棄物処理事業」を産業事業にセグメント区分の変更を行っており、前年同期の数値は、セグメント変更後の数値で比較しております。

(営業損益は、前期高採算案件の反動、および持株会社体制への移行、不動産取得税、不具合対応などの一過性の費用および人的投資を含む販管費の増加により減益)

■ JFEエンジニアリング(株)国内水エンジニアリング事業の統合

当社とJFEエンジニアリング(株)は、2023年6月27日付の「国内水エンジニアリング事業の統合に伴う吸収分割契約の締結ならびに統合新会社の連結子会社の商号変更に関するお知らせ」で公表しましたとおり、当社の水環境事業と JFEエンジニアリング(株)の国内水エンジニアリング事業の統合を10月1日付で実施し、営業を開始しました。

両社の技術とサービス・事業の知見を補完・融合し、拡大するPPP/PFI 事業などへの対応力を高めることでさらなる成長を図り、国内上下水道分野における強固な地位を確立し、リーディングカンパニーとなることを目指します。



■ サステナビリティに関わる取り組みを推進

当社グループでは、サステナビリティを経営戦略の中心に据え、事業を通じて様々な社会課題の解決に取り組むことで、ステークホルダーの皆様とともに持続的な成長を実現してまいります。

サステナビリティに関する取り組みを推進するため、当社の代表取締役社長を委員長とするサステナビリティ委員会を設置し、取締役会の監督体制のもと、グループ全体で取り組みを進めています。各施策の検討、展開は関係部門、事業会社が実施しますが、グループ横断で取り組むべき課題については、委員会の下部組織として分科会（環境・人権）を設置し活動してまいります。

今年度においては、「月島ホールディングスグループ人権方針」を策定しました。当社グループは本方針に則り、人権尊重の責任を果たしてまいります。

また、調達活動においてCSR（企業の社会的責任）を果たし、お客様や取引先の皆さまと一体となって相互の発展を目指した調達活動を進めるため、調達方針を策定しました。取引先の皆さまと、より一層の信頼関係を構築しつつ安定調達およびCSR調達体制を確立するための活動に取り組んでまいります。

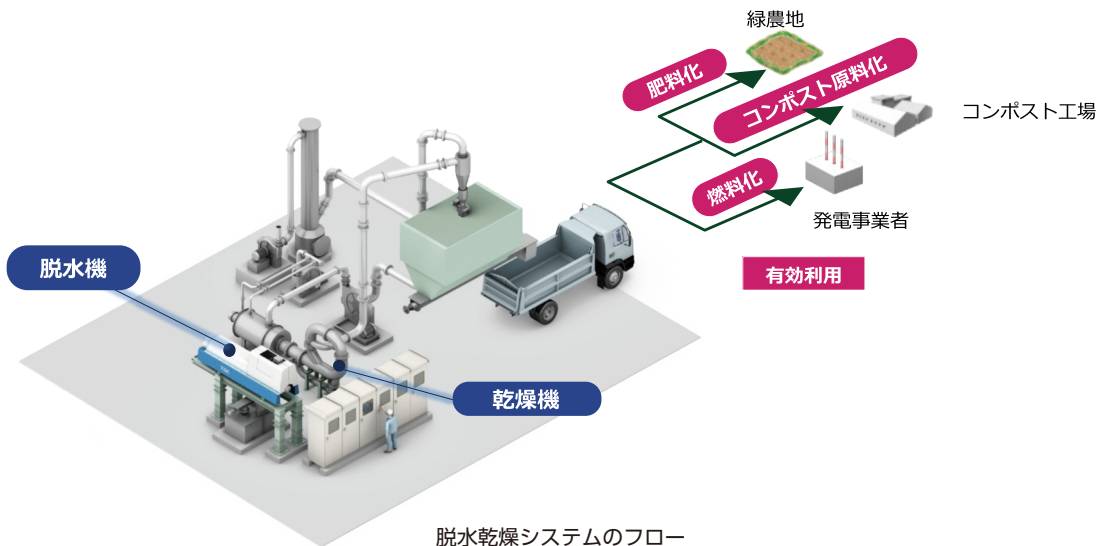


■ 「脱水乾燥システム」日本産業機械工業会優秀環境装置表彰「経済産業大臣賞」を受賞

一般社団法人日本産業機械工業会主催の第49回優秀環境装置表彰において、月島JFEアクアソリューション(株)と日本下水道事業団が共同で開発した「脱水乾燥システム」が、経済産業大臣賞を受賞しました。

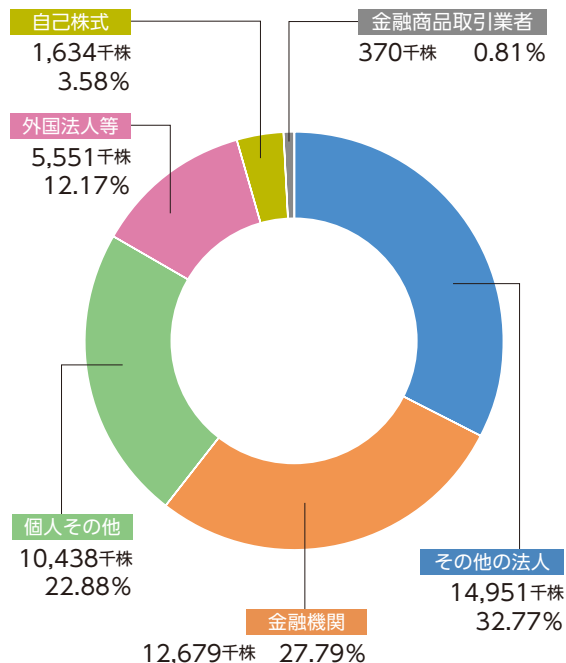
「脱水乾燥システム」は、従来は別々に設置されていた污泥脱水機と乾燥機を組み合わせることで、脱水・乾燥プロセスを一体化したものです。使用する機器の点数が少なくなり、低コストかつシンプルな処理システムを実現しました。運転管理では、供給する熱風温度の調整のみで燃料物や肥料などその用途に応じた最適な水分にコントロールすることが可能で、様々な下水污泥の有効利用のニーズに対し、本システムのみで対応可能になります。

月島JFEアクアソリューション(株)は下水処理場における污泥処理で豊富な実績を誇ります。今後も脱炭素社会や循環型社会の構築に貢献する技術の普及展開に積極的に取り組みます。



株式の状況および株主優待制度

所有者別株式分布状況



株式の状況

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式 1,634,949株を含む)	45,625,800株
株主数	5,791名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,875	8.80
株式会社日本製鋼所	2,476	5.62
大同生命保険株式会社	2,115	4.80
太陽生命保険株式会社	1,885	4.28
月島ホールディングス従業員持株会	1,773	4.03
東京センチュリー株式会社	1,757	3.99
月島ホールディングス取引先持株会	1,561	3.55
GOVERNMENT OF NORWAY	1,290	2.93
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,213	2.75
野村信託銀行株式会社(月島ホールディングス従業員持株会専用信託口)	1,033	2.34

(注) 1: 当社の自己株式1,634,949株は、上記の表には含めておりません。
2: 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主優待制度のご案内

**長期継続保有していただいている株主様に対して、
長年のご愛顧への謝意として、長期保有特典を追加しました。**

1,000株以上ご所有のすべての株主様に新潟県魚沼産の
コシヒカリ新米4kgを年1回進呈しております。

(注) 1. 毎年3月末日の株主名簿において、1,000株以上ご所有の株主様に対し、10月中旬に新米(新潟県魚沼産コシヒカリ)4kgをご送付いたします。

2. 1.の株主様を除き、4月以降に当社株式を新規もしくは追加でご取得され、9月末日の株主名簿において合計して1,000株以上の当社株式をご所有になられた株主様に対し、11月初旬に新米(新潟県魚沼産コシヒカリ)4kgをご送付いたします。



長期継続保有の株主様

毎年3月末日の株主名簿において、**3年以上継続して1,000株以上ご所有の株主様(※)**に対し、**新米(新潟県魚沼産コシヒカリ) 2kgを追加いたします。**

※「3年以上継続して1,000株以上ご所有の株主様」とは、3月末日の株主名簿において、同一株主番号で3年以上継続して記録されている株主様(同一の株主番号で1,000株以上を、9月末日、3月末日の株主名簿に7回以上継続して記録されている株主様)といたします。



財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

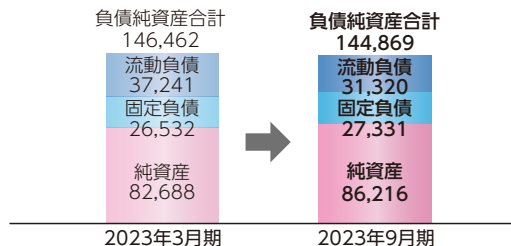
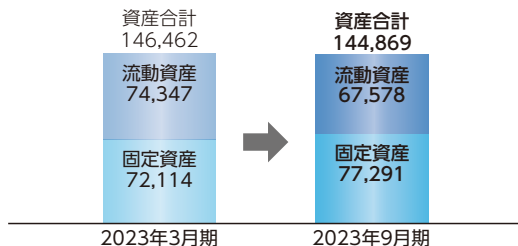
科 目	前期末 (2023年3月31日現在)	当中間期末 (2023年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	74,347	67,578
固定資産	72,114	77,291
有形固定資産	46,666	46,542
無形固定資産	1,770	1,626
投資その他の資産	23,676	29,122
資産合計	146,462	144,869
負債の部		
流動負債	37,241	31,320
固定負債	26,532	27,331
負債合計	63,773	58,652
純資産の部		
株主資本	76,319	76,130
資本金	6,646	6,646
資本剰余金	5,608	5,642
利益剰余金	66,505	66,287
自己株式	△2,441	△2,446
その他の包括利益累計額	4,860	8,521
非支配株主持分	1,508	1,564
純資産合計	82,688	86,216
負債純資産合計	146,462	144,869

連結損益計算書(要旨)

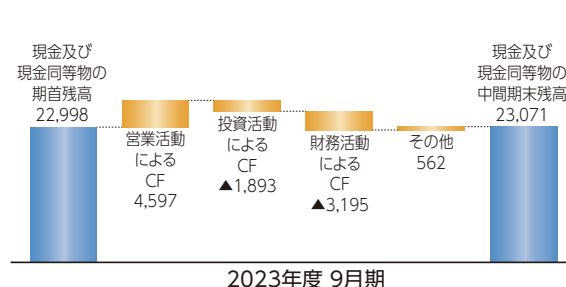
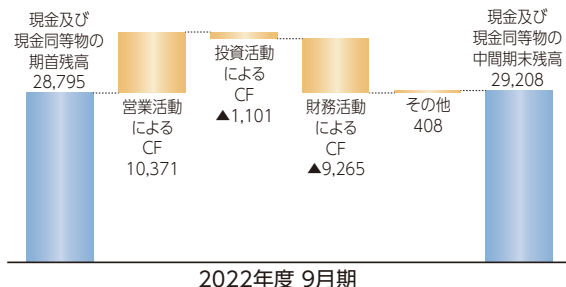
(単位：百万円)

科 目	前中間期 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	当中間期 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日
売上高	37,352	38,297
売上原価	29,492	30,700
売上総利益	7,860	7,597
販売費及び一般管理費	6,977	7,596
営業利益	882	0
営業外収益	599	796
営業外費用	107	79
経常利益	1,374	717
特別利益	78	514
特別損失	254	27
税金等調整前中間純利益	1,198	1,204
法人税等	343	293
中間純利益	855	911
非支配株主に帰属する中間純利益	△ 22	△ 9
親会社株主に帰属する中間純利益	877	921

資産、負債および純資産の状況 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー(CF)の状況 (単位：百万円)



会社情報

会社概要

本社	東京都中央区晴海三丁目5番1号
創業	明治38年(1905年)8月
資本金	6,646,801,824円
従業員数	連結 3,556名 (2023年10月1日現在)

月島ホールディングスグループ(事業会社)

月島JFEアクアソリューション株式会社
月島機械株式会社
月島ジェイテクノメンテサービス株式会社
月島ジェイアクアサービス機器株式会社
サンエコサマル株式会社
月島環境エンジニアリング株式会社
寒川ウォーターサービス株式会社
月島ビジネスサポート株式会社
TSKエンジニアリングタイランドCO.,LTD.
月島機械(北京)有限公司
大同ケミカルエンジニアリング株式会社
BOKELA GmbH
尾張ウォーター&エナジー株式会社
三進工業株式会社
プライミクス株式会社
株式会社バイオコール京都烏羽
横浜西谷ウォーターサービス株式会社
武蔵野環境整備株式会社
市原バイオサイクル株式会社
月島エンジニアリングマレーシア株式会社
月島エンジニアリングシンガポール株式会社
TSKエンジニアリング台湾株式会社

役員

代表取締役会長	山田 和彦
代表取締役社長社長執行役員	川崎 淳
取締役専務執行役員	高野 亨
取締役(月島機械(株)代表取締役社長)	福沢 義之
取締役(月島JFEアクアソリューション(株)代表取締役社長)	鷹取 啓太
取締役(社外)	間塚 道義
取締役(社外)	勝山 憲夫
取締役(社外)	増田 暢也
取締役(社外)	志村 直子
常勤監査役(社外)	吉加 訓
常勤監査役(社外)	尾内 正道
監査役(社外)	塚野 英博



本社



室蘭工場(月島機械株式会社)



R&Dセンター

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
1単元の株式数	100株
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (平日9:00-17:00) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	
公告の方法	電子公告による (ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします)
公告掲載URL	https://www.tsk-g.co.jp/
証券コード	6332

■お知らせ■

1.ご注意

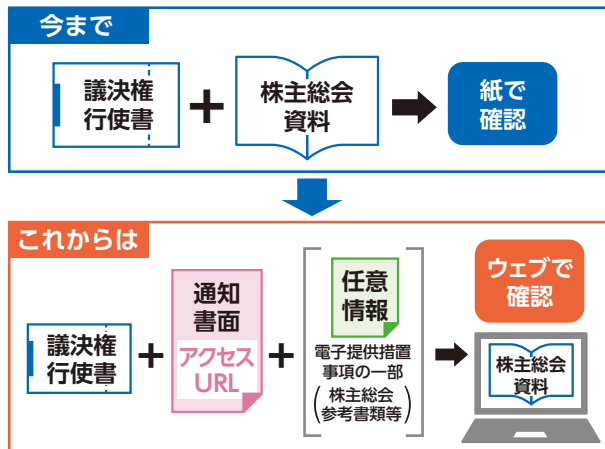
- (1)株主様の住所変更、単元未満株式の買増・買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に登録された株式に関する各種お手続き(買取請求等)につきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関になっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2.配当金計算書について

「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。なお、配当金を証券口座でお受取り(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

会社法改正により株主総会資料が 原則ウェブ化されました

当社では、2024年6月開催予定の次回株主総会より、株主の皆様へ、株主総会資料を掲載しているウェブサイトへのアクセス方法等を記載した招集ご通知(通知書面)+電子提供措置事項の一部(株主総会参考書類等)をお送りする予定です。



株主総会資料を書面で受領するためのお手続き 「書面交付請求」について

当社株主総会資料を書面でのお受け取りをご希望される場合は、2024年3月31日(株主総会基準日)までにお取引のある証券会社または下記株主名簿管理人を通じて「書面交付請求」のお手続きをお取りください。

なお、「書面交付請求」には費用がかかる場合があります。

株主総会資料の電子提供制度に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル

☎ 0120-696-505

(受付時間: 土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>

よくある
ご質問

もしくは株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。



月島ホールディングス株式会社

東京都中央区晴海三丁目5番1号
TEL: 03-5560-6511 (代表)

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

